

10月26日発行

発行所 社団法人全日本トラック協会
〒163-1519 東京都新宿区西新宿1-6-1
新宿エルタワー19階
☎(03) 5323-7242 (広報部)
http://www.jta.or.jp

広報とらつく

第41回
全国トラックドライバー・コンテスト

号外

第41回 全国トラックドライバー・コンテスト



表彰式で祝福される各部門優勝者（左から中山さん、坪内さん、坂本さん、鶴澤さん）

各賞受賞者			
内閣総理大臣賞	坪内 大樹	11トン部門	
警察庁長官賞・ 全日本トラック協会会長賞 (連名)	中山 真充	4トン部門	
	坪内 大樹	11トン部門	
	坂本 洋	トレーラ部門	
全日本トラック協会会長賞	鶴澤 香織	女性部門	
	各部門第1位～5位		

国土交通大臣賞（中小最高得点者）	
坪内 大樹	岡田運輸(株)名古屋支店

国土交通大臣賞（事業所表彰）	
4トン部門	佐川急便(株)田辺店
11トン部門	岡田運輸(株)名古屋支店
トレーラ部門	日本通運(株)八代支店八代事業所
女性部門	佐川急便(株)東松山店

全日本トラック協会会長特別賞	
鈴木 壯	岡田運輸(株)東北一関営業所
二田 和文	日本通運(株)鹿児島支店

後援：内閣府、国土交通省、警察庁
自動車安全運転センター
財団法人交通安全協会
財団法人自動車整備振興会連合会
協賛：株式会社プリチストン
協力：日野自動車株式会社
いすゞ自動車株式会社
マツダ株式会社
三菱ふそうトラック・バス株式会社
日本フルーフ株式会社
日産ディーゼル工業株式会社
日産自動車株式会社
トヨタ自動車株式会社(ABC順)

今年度から新設された国土交通大臣賞は、中小企業から出場した全部門の選手の中から最高得点をマークした選手に贈られるもので、これも同選手が受賞した。これまで大手企業の壁に阻まれ、難しいとされていた中小企業所属のドライバーによる内閣総理大臣賞の受賞は、まさに快挙といえる。これからのこのような中小企業のチャレンジに期待をたく結果となった。

なお、「全日本トラック協会会長特別賞」は、11ト部門の岩手県代表・鈴木壯（すぎき・つよし）さん、11ト部門の鹿児島県代表・二田和文（にた・かずふみ）さんがそれぞれ受賞した。

全ト協会長特別賞は鈴木壯、二田和文両選手

10月24日から26日、全日本トラック協会は「第41回国トラックドライバー・コンテスト」を開催。競技の結果、総合得点第1位である岡田運輸(株)の坪内大樹さん（つばうち・ひろき、11ト部門）が内閣総理大臣賞に輝いた。また、今年度から新設された、中小企業所属の総合得点第1位の選手に贈られる国土交通大臣賞もあわせて受賞した。中小企業所属選手の内閣総理大臣賞受賞は、大会史上に輝く快挙といえる。なお、部門別優勝者に、中山真充さん（なかもと・ひろし、トレーラ部門）、坂本洋さん（さかもと・ひろし、トレーラ部門）、鶴澤香織さん（つるさわ・かおり、女性部門）が輝いた。



選手の健闘を称える中西会長

岡田運輸(株)坪内選手に内閣総理大臣賞 中小企業ドライバー 大会史に輝く快挙

部門	順位	氏名		年齢	都道府県	所属事業所	総合得点
		姓	名				
4トン	1	中山	真充	32	和歌山	佐川急便(株)田辺店	978
	2	加賀崎	芳男	38	埼玉	佐川急便(株)深谷店	975
	3	高野	祐輔	29	岐阜	佐川急便(株)岐阜店	970
	4	佐藤	英行	27	静岡	佐川急便(株)静岡店	970
	5	坪内	祐輔	33	宮崎	日本通運(株)宮崎支店延岡営業課	965
11トン	1	中山	大樹	35	愛知	岡田運輸(株)名古屋支店	990
	2	新妻	智之	32	山形	日本通運(株)山形支店山形重機建設事業所	990
	3	金坂	和也	25	千葉	京葉日立物流サービス(株)茂原輸送営業所	975
	4	吉田	峰之	26	宮城	日本通運(株)仙南支店	970
	5	渡邊	明紘	25	栃木	北関東日立物流サービス(株)輸送営業所	965

部門	順位	氏名		年齢	都道府県	所属事業所	総合得点
		姓	名				
トレーラ	1	坂本	洋	32	熊本	日本通運(株)八代支店八代事業所	985
	2	三村	翼	27	茨城	日立物流東日本営業本部輸送営業部県央グループ	980
	3	田中	啓一	33	大阪	センコー(株)阪神支店	975
	4	尾谷	祐也	32	埼玉	日本通運(株)埼玉支店	975
	5	齋藤	克治	40	新潟	日本通運(株)新潟支店	965
女性	1	鶴澤	香織	22	埼玉	佐川急便(株)東松山店	975
	2	新井	陽子	27	茨城	佐川急便(株)古河店	968
	3	葛西	知子	38	秋田	佐川急便(株)秋田店	953
	4	杉本	こなつ	26	大阪	佐川急便(株)東大阪店	953
	5	梅原	佳子	34	佐賀	佐川急便(株)鳥栖店	930

各部門入賞者

第41回 全国トラックドライバー・コンテスト

～ 写真で振り返るダイジェスト～

第1日目
10月24日

日本一目指して
スタート!!



全国トップレベルの144人
今大会出場選手は144人。いずれも都道府県大会を勝ち抜いたトップレベルのドライバーたちばかり。

平均年齢は
35.1歳

出場選手の平均年齢は35.1歳。そのうち、最年長はトレーラ部門の55歳、最年少は女性部門の19歳。

停止板ギリギリで止める

ゴールは1面に続く!!
入賞者発表です



全競技が終了し、表彰式が行われる新宿へバスで移動



PRにかけたTBSラジオカー



選手宣誓は静岡県代表の小嶋久美子さん



開会式から熱戦がスタート

全国から集まったたくさんの応援者が選手に熱い声援を送る



整備点検は200点
車両の安全を確保するための技術を競う整備点検競技は、日常点検を基本に点検箇所・点検内容等について採点され、満点は200点。4トン、女性部門は7分、そして11トン、トレーラ部門は8分の競技時間です。

学科は450点
学科競技は法規200点、構造機能100点、運転常識150点の450点満点で競います。試験時間は60分です。

運転は350点
運転競技は350点満点です。安全無事故運転を主体に交通法規の順守と基本操作技術を審査します。エコドライブもポイントです。



翌日の運転競技に向けて注意事項の説明



1日目を終えてホッとする夕食タイム

第2日目
10月25日



競技開始前にコースの下見



運転スタート



高速周回路



S字後退から車庫入れ



スラローム走行



あい路の通過



女性部門
小澤香里(北海道)、葛西知子(秋田県)、伊藤浩美(福島県)、新井陽子(茨城県)、鶴澤香織(埼玉県)、小野貴恵(東京都)、中上美恵(神奈川県)、小嶋久美子(静岡県)、木下陽子(京都府)、杉本こなつ(大阪府)、三浦千春(兵庫県)、山下理枝(和歌山県)、遠藤春江(鳥取県)、赤木順子(岡山県)、埴淵奈央子(徳島県)、長澤宏美(愛媛県)、川上明美(高知県)、白石美香(福岡県)、梅原佳子(佐賀県)、佃屋純恵(長崎県)、長谷川利栄子(熊本県)

トレーラ部門
栗原利勝(北海道)、橋山考成(岩手県)、黒澤宏次(宮城県)、木村王久(山形県)、後藤武士(福島県)、三村翼(茨城県)、小倉武敏(群馬県)、尾谷祐也(埼玉県)、澁谷猛(千葉県)、関谷与市(東京都)、神波貴宏(神奈川県)、齋藤克治(新潟県)、片外喜幸(富山県)、小林敦(石川県)、山本好裕(岐阜県)、伊村弘樹(静岡県)、山田有善(愛知県)、川崎智也(三重県)、松本英治(滋賀県)、掛川貴(京都府)、田中啓一(大阪府)、土元宏訓(兵庫県)、峯野好史(和歌山県)、丸山誠(岡山県)、椋木修礼(山口県)、尾上武士(香川県)、宇佐見裕矢(愛媛県)、下元敏弘(富山県)、宇崎正則(福岡県)、北村健太郎(佐賀県)、坂本洋(熊本県)、工藤文則(大分県)、内村隆孝(沖縄県)

11トン部門
吉田篤司(北海道)、石田伸也(青森県)、鈴木壮(岩手県)、吉田峰之(宮城県)、泉山隆(秋田県)、新妻智之(山形県)、星明男(福島県)、古館秀樹(茨城県)、渡邊明敏(栃木県)、羽田博(群馬県)、春山和治(埼玉県)、金坂和也(千葉県)、根岸和也(東京都)、古越健之(神奈川県)、渡辺弘幸(新潟県)、河井敏宏(富山県)、高内智(石川県)、山口盛夫(福井県)、永治昌隆(岐阜県)、笹本浩二(静岡県)、坪内大樹(愛知県)、井後政勝(三重県)、荻野明宏(滋賀県)、森川正幸(京都府)、矢引龍太郎(大阪府)、松下博則(兵庫県)、堀川順弘(奈良県)、長尾幸治(和歌山県)、森田秀樹(鳥取県)、水川雅弘(岡山県)、末國精地(広島県)、岩本寛之(山口県)、井内和人(徳島県)、真鍋光司郎(香川県)、武内真太郎(愛媛県)、永田昌稔(高知県)、井上誠(福岡県)、吉田昭(熊本県)、村松健二(大分県)、新堀聡吾(佐賀県)、河野朝夫(長崎県)、松上拓也(宮崎県)、二田和文(鹿児島県)、平良和彦(沖縄県)

4トン部門
舛澤貴志(北海道)、澤口隆興(青森県)、伊藤透(秋田県)、笠井基一(山形県)、阿部秀光(福島県)、西田大介(茨城県)、桑野修一(栃木県)、猪熊光彦(群馬県)、加賀崎芳男(埼玉県)、石渡光一(千葉県)、堀口祐(東京都)、水谷太亮(神奈川県)、三浦法正(山梨県)、山崎司(新潟県)、竹原広志(長野県)、西山健二(富山県)、藤田彰一(石川県)、井上健太(福井県)、高野祐輔(岐阜県)、佐藤英行(静岡県)、伊藤季彦(愛知県)、石井佐京(三重県)、伊藤輝彦(滋賀県)、大野建一郎(京都府)、時本竜一(大阪府)、内田能功(兵庫県)、吉田憲(奈良県)、中山真充(和歌山県)、柘田隆一(鳥取県)、茅尾進吾(岡山県)、中村龍也(広島県)、杉山恵一(山口県)、谷田誠(徳島県)、榎本忠士(香川県)、松本弘(愛媛県)、黒岩武(高知県)、大久保忠(福岡県)、高田和幸(佐賀県)、徳永信弘(長崎県)、木村博文(熊本県)、佐藤友成(大分県)、野口祐輔(宮崎県)、大戸幸雄(鹿児島県)、我那覇勇次(沖縄県)

出場した選手の皆さん (敬称略)